

大使館便り

第168号 平成29年3月3日
在ポルトガル日本国大使館

1. 東博史大使からのメッセージ

後日、別途掲載致します。

2. 政治・経済関係

(1) 長期国債の発行

2月8日、ポルトガル国庫公債管理庁（IGCP）は、5年物及び7年物長期国債の入札を実施し、総額11億8000万ユーロを調達しました。落札平均利回りは5年物が2.753%、7年物が3.668%でした。

(2) 2016年第4四半期の雇用統計

2月8日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2016年第4四半期の雇用統計について、失業率が10.5%（前期比増減無し；前年同期比1.7ポイント減）、失業者数が54万3200人（前期比1.2%減；前年同期比14.3%減）であると発表しました。また、このうち、若年層失業率（15～24歳）は、27.7%（前期比1.6ポイント増；前年同期比5.1ポイント減）でした。

(3) コスタ首相の中央アフリカ訪問

2月12日～13日、コスタ首相は、中央アフリカを訪問し、サランジ首相、トゥアデラ大統領等へ表敬を行い、また、ポルトガル軍の宿泊施設を訪問しました。コスタ首相は、訪問の目的を「ポルトガル政府及びポルトガル国民が、ポルトガル軍と、その指揮管理に信頼を置いているというメッセージを發し、またポルトガル政府の外交戦略を支えるために、本ミッションが重要であることを示すこと」と語りました。ポルトガルは2015年11月のパリにおけるテロ事件後、フランスの要請を受け、本ミッションに加わり（※中央アフリカにいたフランス軍が、イスラム国過激派との戦闘のため別の地へ派遣されたため、交替にポルトガル軍が参加）現在160名のポルトガル軍が、中央アフリカにおける国連及びEUのミッションに参加しています。トゥアデラ大統領は、コスタ首相に対し、ポルトガル軍の派遣に謝意を表明し、同派遣の重要性を強調するとともに「30年前まで多くのポルトガル人が、商業やコーヒーのプランテーションにおいて経済活動を行っていた。多くのポルトガル人が再び中央アフリカへ戻ってくることを期待している。ポルトガルは、インフラ建設において素晴らしい能力と経験を有している。中央アフリカは建設を必要としており、ポルトガルの経験は中央アフリカに大きな恩恵をもたらすものである」と語りました。

(4) 国営貯蓄銀行の経営陣辞任を巡るセンターノ財務大臣の記者会見

2月13日、ポルトガルの金融安定化に向けた大型の自己資本強化計画の一環で、客年8月に新たに就任した国営ポルトガル貯蓄銀行（CGD）の民間出身の経営陣が数か月で辞任に至った経緯を巡り、偽証していた疑いがあるとして、野党から辞任要求を含めて追求されているセンテ

ーノ財務大臣が急きょ記者会見を開きました。

「CGDを含む公営企業の経営陣は、その報酬及び個人資産額を憲法裁判所に届け出る義務を定めた83年施行の法律が存在するにもかかわらず、政府は、CGDの新経営陣に対し、右義務の免除を付与したのか」との問いに対し、センターノ財務大臣は、CGDの定款変更に関しては新経営陣との間で合意したものの、右義務免除の合意はなかったと述べた上で、「双方に認識の違いがあった」等と説明しました。他方、同大臣は辞任したドミンゲス総裁との「非公式な対話」で、右義務に関するやり取りを行っていたことを認めました。

野党側はこの説明に更に反発姿勢を強めましたが、コスタ首相は、センターノ財務大臣の記者会見後、「センターノ財務大臣を信頼している。同大臣のもとで、2016年にポルトガルの財政部門は安定した。今日の金融セクターについても、（現政権発足後間もなくの）2015年12月頃に我々が直面していた状況に比べ、決定的に改善している。CGDの自己資本強化プロセスを巡る同大臣の説明が、現政府の安定性及び継続性を損なうことは何ら正当性を持たない」とプレスリリースを発出し、同大臣の立場を全面的に擁護する旨強調しました。ソウザ大統領も「国益及び金融セクターの安定化のため、センターノ財務大臣に対する信頼を維持するとのコスタ首相の立場を受け入れた」旨プレスリリースを発出しました。

（５） 2016年第4四半期及び通年のGDP成長率

2月14日、ポルトガル国立統計院（INE）は、2016年第4四半期のGDP成長率を前年同期比で1.9%増、前期比で0.6%増であると発表しました。また、2016年のGDP成長率は、1.4%でした。

（６） リスボン空港の拡張と新空港建設プロジェクト

2月16日、ポルトガル政府は、リスボン空港のキャパシティー不足を解消するため、ポルトガル国内空港・運営を手掛けるポルトガル空港会社（ANA）との間で、同空港の能力拡張及びテージョ川を挟んでリスボン市の対岸に位置するモンティージョ空軍基地の一部を新たな民間空港として活用する計画を推進することで覚書を交わしました。これに関し、ANAは、プロジェクト予算及びファイナンス方法を含めた具体的な計画書を6か月以内に政府に提出する予定になっています。

（７） 第4回ポルトガル・カーボヴェルデ首脳会合

2月20日、コスタ首相は、カーボヴェルデを訪問し、コレイア・イ・シルヴァ首相と第4回ポルトガル・カーボヴェルデ首脳会合を実施しました。本訪問には、サントス・シルヴァ外務大臣、ロペス国防大臣、デ・ソウザ内務大臣、フェルナンデス環境大臣、ロドリゲス教育大臣が同行しました。両首脳は、経済・金融情勢、不安定な世界情勢、BREXITにより引き起こされる課題、難民危機、大西洋中部の安全、アフリカ西部情勢、テロ、違法取引との闘い、海賊、ギニア湾における協力について議論しました。両首脳は、支援総額が1200万ユーロとなる対カーボヴェルデ協力2017-2021年戦略プログラムに署名を行った他、防衛や警察の技術支援、司法、教育、環境、財政、開発等に関する12本の署名が行われました。

なお、本首脳会合は、2010年に両国間で署名された友好協力条約に基づく定期首脳会合であり、今次会合は第4回目となる。次回会合は2年以内にポルトガルで開催予定となっています。

(お知らせ)

リスボン国際観光フェア (BTL) に日本ブースを出展

3月15日～19日、「リスボン国際観光フェア (Bolsa de Turismo de Lisboa) 2017」に日本政府観光局 (JNTO) が日本ブースを出展します。詳細は、下記 URL をご参照下さい。

・日時：3月15日 (水) ～19日 (日)

※業界向けは15日～17日、一般向けは17日～19日

・会場：FIL (Feira Internacional de Lisboa)

・住所：Rua do Bojador - Parque das Noções, Lisboa

・URL：<http://btl.fil.pt/>

3. 広報・文化関係

【イベント】

(1) ポルト市椿展における影絵芝居と茶道セレモニーの開催

ポルト市にて開催される椿展の関連イベントとして、下記の通り、当地在住のアーティストによる影絵芝居とお茶のセレモニーが開催されます。詳細は下記までお問い合わせ下さい。

【影絵芝居】(田中紅子)

タイトル：「モラエスさんとお茶のはなし」

日時：3月4日(土) 17:30、 3月5日(日) 15:00～、17:00～

場所：ボルサ宮殿、Auditório piso 1

入場：無料 (当日、一階展示場カウンターにて要予約)

お問い合わせ：<http://www.benikotanaka.com/contacto/>

【お茶のセレモニー】(三宅創子)

日時：3月4日(土) 15:30～

場所：ボルサ宮殿、Salão de Árabe

入場：無料 (当日、一階展示場カウンターにて要予約)

お問い合わせ：<http://www.benikotanaka.com/contacto/>

【報告】

(2) 中井智弥二十五弦箏ソロコンサート

2月10日、ポルト市アルメイダ・ガレット図書館において、箏奏者中井智弥によるソロコンサートが開催されました。2015年11月のカスカイスに続くポルトガル公演第2弾目は、会場の親密な雰囲気の中、日本の古典文学や伝統芸術、様々な風景にインスパイアされたテーマの楽曲演奏を披露すると共に、João Lima によるポルトガルギターとのコラボ競演も行なわれ、日本・ポルトガル音楽交流の素晴らしいひと時となりました。

足を運んでいただいた観客の皆様、共催団体である国際交流基金マドリッド日本文化センター

並びに後援いただいたポルト市に心より御礼申し上げます。



(3) 吉岡洋 京都大学こころの未来研究センター教授による講演会

1月30日、吉岡洋 京都大学こころの未来研究センター教授による「How to do Things with Art? : Creative Culture and the Social Context」と題した講演会をリスボン地理協会にて開催しました。

同協会の事務局長の挨拶で開演された講演は、教授、アーティスト、学生、地理協会会員といった多くの皆様にご参加いただきました。吉岡教授は、講演のなかで、日本の様々な地域で様々な規模にて開催された芸術祭の事例を紹介しつつ、地域との連携のあり方や芸術祭がもたらす意味を解説されました。参加者は熱心にメモを取りながら説明に聞き入り、質疑応答では多くの質問が寄せられ、同分野への関心の高さがうかがえました。

ご協力いただいたリスボン地理協会並びに国際交流基金マドリード日本文化センターにお礼申し上げます。



【お知らせ】

(4) 2017年度日本政府国費留学生（日本語・日本文化研修留学生）の募集

日本政府は、2017年度国費留学生（日本語・日本文化研修留学生、ポルトガル人対象）を下記の通り募集しています。応募者の資格及び条件等詳細については、下記URLをご覧ください。

申請書類提出期間：3月3日（金）まで（当館必着）

お問い合わせ: cultural@lb.mofa.go.jp / 21 311 0560

URL: <http://www.pt.emb-japan.go.jp/estudarno.japao.html#bolsas>

(5) 女子サッカー国際大会「アルガルヴェカップ 2017」の開催

女子サッカー国際大会「アルガルヴェカップ 2017」が以下のとおり開催され、日本女子代表チーム「なでしこジャパン」、ポルトガル代表を含む計 12 チームが出場します。試合日程・会場等詳細は、下記 URL をご参照下さい。

日時: 3月1日(水)～8日(水)

URL: http://www.jfa.jp/nadeshikojapan/algarvecup_2017/



The image shows a match schedule for the Algarve Cup 2017. The header includes the FFF logo and the text 'ALGARVE CUP 2017' and 'CALENDÁRIO DE JOGOS MATCH SCHEDULE'. The schedule is organized into a grid with columns for Portugal, Espanha, Líbia, Malásia, and Argélia. The rows represent different stages of the tournament: 1ª Fase (Round of 16), 2ª Fase (Quarterfinals), and 3ª Fase (Semifinals). A section for '8 março | March 2017 | Jogos Finais | Final matches' is also visible, with a note 'A confirmar | To be confirmed' and 'Estádios | Stadiums: Algarve, Alentejo, Faro'. At the bottom right, there is a logo for 'ENTRADA LIVRE PARA O ENTRANCE'.

(6) 広報文化班からのお知らせ

今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、**ポルトガル国内での転居、日本への帰国、他国への転出等**、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(2) 在外選挙人名簿登録

外国に在住する日本人が衆議院議員選挙、参議院議員選挙をするためには、在外選挙人登録が必要です。18歳以上で日本国籍を持っていること、ポルトガルに3か月以上住んでいること、日本で転出届を市町村役場に提出済であることが必要です。なお、3か月未満のポルトガル在住でも申請できますが、居住期間の3か月经過時に改めて所在を確認した上で登録申請先の国内選挙管理委員会に送付することとなりますのでご注意ください。登録申請のためには旅券を持参ください。

(3) 「たびレジ」登録

在留邦人の皆様が、ポルトガル以外に旅行される場合には「たびレジ」の登録をお願いします。「たびレジ」に登録しますと、現地の大使館からの安全情報をスマートフォン等で受信することが出来ます。登録はこちら。<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

(4) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975

E-mail：consular@lb.mofa.go.jp